

第3回 市教研養護教諭部ブロック別研修会



期日：令和7年10月29日（水）
場所：ブロック別各会場

第3回養護教諭部ブロック別研修会は、各ブロックに分かれて講話を聞いたり、日常職務の情報交換等を行ったりしました。短い時間ではありましたが、実りある良い研修の時間となりました。



～研修会の様子～

1 ブロック

- 講話「学校でのけがを防ぐ」
講師：元相生小学校長 花島 宗一郎 氏
- 日常職務の情報交換（校種別・校区別研修）

学校でのけがを防ぐために必要な教職員の心構えや具体的な予防策について教えていただきました。すべての活動において「絶対にけがをさせない」という強い気持ちで子供から目を離さずに指導にあたることや、けがが起こりにくい空気感を作ることの大切さを学びました。また、実際に体育が苦手な子供たちでも楽しく取り組み、準備体操になるレクリエーションを体験しました。今回学んだことを各学校で教職員へ伝え、危機意識を向上させていきたいです。



2 ブロック

- 北部中保健室訪問・校内まなびの教室見学
- 日常職務の情報交換（テーマ別・校種別）

北部中の保健室と校内まなびの教室を見学しました。会場校の養護教諭から、保健室経営の工夫や保健室のレイアウト、整理収納方法等を学びました。

また、校内まなびの教室は不登校の悩みをもつ生徒たちが安心して過ごせる「学校の居場所」であること、そのための支援体制や環境づくりの工夫について知ることができました。

職務の情報交換では、ICT活用、掲示、組織活動、保健指導・保健だよりの4つのテーマに分かれて、各校の実践を持ち寄り、工夫していること等について共有し、自校での取組を振り返ることができました。今後の保健室経営に生かしていきたいです。



3ブロック

- 講話「7つのステップで解決！！誰もが心地のよい保健室づくり」
講師：整理収納アドバイザー 山口 美江 氏

養護教諭の経験がある講師から、保健室に特化した整理収納の基本とコツを学ぶことができました。

また、自校の保健室の写真を持ち寄ったことで、現状を確認しながら効果的な整理収納の方法について話し合ったり、講師からのアドバイスを受けたりすることができました。その結果、具体的なイメージやアイデアを自校に持ち帰ることができました。

今後のよりよい保健室経営を行うために、保健室の環境づくりに生かしていきたいです。



4ブロック

- 「職務の工夫シート」発表会
- 日常職務の情報交換

事前に作成し、持ち寄った「職務の工夫シート」を基に各校で発表をしました。おすすめの救急用品や保健室用品の紹介、「こころの日」や学校保健週間での取組、学校保健活動におけるICTの活用として就学時健康診断時の Google スプレッドシートの活用について紹介し合うことができました。

工夫している点やおすすめしたい点にポイントをしばって情報交換することで、環境整備や執務の効率化につながる学びとなりました。これらの学びを自校の保健室経営や学校保健活動に取り入れていきたいです。



5ブロック

- 講話「日本語適応指導教室（にじ）について」
講師：浜北北部中学校教諭 佐々木 しのぶ 氏
- 日常職務の情報交換

日本語適応指導教室は、初めて日本（浜松）に来て、就学する外国籍の子供（小6～中3）を対象とした教室で、学校生活に適應していくための心身の安定を図ることを一番に考えながら10週間の支援をしている様子を伺いました。養護教諭の立場からも外国籍の子供たちに寄り添い、心身の安定が図れるよう支援することの大切さを知ることができました。

日常職務の情報交換では、各校のインフルエンザ等の感染状況や対応を共有することができ大変参考になりました。自校での取組に生かしていきたいです。



6ブロック

- 講話「緊急支援における養護教諭の役割について」
- 講師：庄内小養護教諭 古橋 知佳
- 保健室見学 庄内学園保健室

実際にあった事故の事例を基に、養護教諭はどのような役割を担うのか、他の職員はどのような役割をしているのか、学校全体としてどのような動きがあるか、教育委員会やSCとの連携、時系列に沿った実際の対応についての話を聞きました。

講話から、緊急支援時の養護教諭の役割についてより明確にイメージを持つことができました。緊急支援は、職員全員が「わからない」がスタートであり、それぞれが情報や気持ちを共有しチームで対応することがとても重要であることを学びました。

また、校内だけでなく養護教諭同士の横のつながりも大切だということに改めて感じました。



7ブロック

- 日常職務の情報交換
- 校区别研修及び来年度の研修についての検討

日常職務における疑問や課題について事前にアンケートをとり、情報交換を行いました。宿泊行事での保険証の扱いや保健室での子供たちへの対応、校内における欠席者の確認方法、おすすめの救急グッズ等について紹介しました。

また、日ごろ抱えている課題について各校から持ち寄った資料を共有したり、経験を聞いたりすることで、専門職としての知見を深めることができました。

今後も、養護教諭としての専門性を高めることができるよう、研修を進めていきたいと思えます。



8ブロック

- 講話「学校環境衛生基準に基づく学校環境衛生活動の実施に向けて」
- 講師：水窪小学校・水窪中学校 学校薬剤師 沖田 佳子 氏
- 日常職務の情報交換

学校環境衛生活動に関する講話を聞く機会がなく、大変勉強になりました。「飲料水の残留塩素検査を行う蛇口は、自校の飲料水用タンクの位置や配管構造を確かめて場所を決めるとよい」「検査器具を購入するときは学校環境衛生基準を必ず確かめる」等、各校の学校環境衛生活動をより正確に行うためのポイントを知ることができました。

事前に比較対象として行った各学校周辺の大気中の二酸化炭素濃度検査の結果では、一般的な数値より低い学校もあり、豊かな自然に囲まれた8ブロックの学校環境の良さを再認識できました。

